

第一日曜日
主日第一礼拝 9:00～
主日第二礼拝 10:30～
その他の日曜日
教会学校 9:00～
聖書を読む会 9:00～
主日礼拝 10:30～

日本基督教団 麻布南部坂教会月報

2020 (令和2年) 10.11

牧師 松谷 祐二

〒106-0047 東京都港区南麻布4-5-6 Tel & Fax 03 (3473) 1276
E-mail church@nanbuzaka.com http://www.nanbuzaka.com/

祈祷会
第2日曜日 礼拝後
成人会
第3日曜日 礼拝後
婦人会
第4日曜日 礼拝後
教会附属 南部坂幼稚園

印刷 有限会社 創文社 Tel (3491) 8321

「主の名に依って祈る」

牧師 松谷 祐二

列王記上 第八章一〇～一三節

祭司たちが聖所から出ると、雲が主の神殿に満ちた。その雲のために祭司たちは奉仕を続けることができなかつた。主の栄光が主の神殿に満ちたからである。

ソロモンはそのときこう言った。「主は、密雲の中にとどまる、と仰せになった。荘厳な神殿をいつの世にもとどまっていただけける聖所を わたしはあなたのために建てました。」

同 二七～三〇節

「神は果たして地上にお住まいになるでしょうか。天も、天の天もあなたをお納めすることができません。わたしが建てたこの神殿など、なおふさわしくありません。わが神、主よ、ただ僕の祈りと願いを顧みて、今日僕が御前にささげる叫びと祈りを聞き届けてください。そして、夜も昼もこの神殿に、この所に御目を注いでください。ここはあなたが、『わたしの名をとどめる』と仰せになった所です。この所に向かって僕がささげる祈りを聞き届けてください。僕とあなたの民イスラエルがこの所に向かって祈り求める願いを聞き届けてください。どうか、あなたのお住まいである天にいまして耳を傾け、聞き届けて、罪を赦してください。」

(新共同訳聖書)

ダビデ王は死に、その子ソロモンが跡を継ぎました。ダビデは、神の箱(十戒の二枚の石板が入っている)を収める場所として、モーセの時代から使われてきた幕屋に代わる家——神殿を建立することを志し、死ぬ前に大量の資金、資材などを準備して、建築をソロモンに託しました。七年の歳月をかけて、エルサレムの神殿は完成します。上の聖書箇所は、完成した神殿に神の箱を運び入

れ、祭司たち、イスラエルの全長老たちと共に礼拝をささげた際の、ソロモン王の祈りの一部です。神殿はこれ以降、「主の家」とも呼ばれ、ユダヤ人たちの精神的な拠り所となります。「主の家」——イスラエルの神、主の住まわれるところ、神様の家、というイメージです。今日、キリスト教会の礼拝堂のことを幼児などに分かりやすく教えようとするとときに、「ここは神様のおうちです」と言ったりするのと似ています。

しかし、正確には、神殿は神の住まいとして造られたわけではありませんでした。「神は果たして地上にお住まいになるでしょうか。天も、天の天もあなたをお納めすることができません。わたしが建てたこの神殿など、なおふさわしくありません。」というソロモンの祈りの言葉の通りです。神殿はイスラエルの神、主、自身が住む所ではなく、主の栄光(「雲」としてあらわされることも多い)が満ちる場所、あるいは主の名がそこにとどまる場所でした。微妙な違いですし、わたしたちにはなじみのない発想ですが、ユダヤ人たちは「主の名」という形のものを、擬人化して、「神の代理者」のようにイメージしていたのだそうです。

人の手で造った建物に、神ご自身を収めることなどできない。ただ、神である主のほうから、代理として「主の名」をここにとどまらせよう、と仰せになった。そして主は、その名を置いた場所に常に目を注いでくださっている。だから、神殿で礼拝をささげるとき、わたしたちはこの「主の名」を伸立ちとして、天にいます神、主を仰ぐことができ、主に、祈りを聞き上げていただくことができる。神が代理者たる「主の名」をここにとどめてくださっている、その限りにおいて、ここは神聖な、意義深い場所だ、という考え方です。

キリスト教では今日、「礼拝堂には神である主ご自身がおいでになるのか、それとも主の栄光、主の名だけがとどまっているのか」といった区別を厳密にすることはあまりありません。父なる神

様が、イエス様が、聖なる霊が、物理的・空間的ではなく「霊的に」(ほかに言いようがありません)、礼拝するわたしたちと共に、わたしたちの只中においでになる、ご臨在くださる、と表現するだけで事足りる。

ただ、面白いことに、昔のユダヤ人の信じ方——神殿は、そこにとどまる「主の名」に依って神に祈り、聞き上げていただける場所だ、という発想は、キリスト教でも重要なところがあります(教会を神殿になぞらえて見るとすれば、ですが)。神殿にとどまる神の代理者たる「主の名」にあたるのは、わたしたちにとっては、神の代理者、神との伸立ちとしてわたしたちの間にとどまってくださった、イエス様ご自身です。だからわたしたちはいつも、まさに「主の名に依って」祈るので、「イエス様のお名前を通して」、「主イエス・キリストの御名によって」お祈りします…と。

ソロモンの神殿の建物は荘厳でした。しかし、建物自体ではなく、そこにおいて人々が「主の名」に依って神に祈り、神とお会いできる、ということに、大きな意味があったのです。この微妙ですが大事な区別は、ユダヤ人の間ですら、忘れられがちでした。立派な主の神殿があるという事実だけで、自動的に守られているかのような錯覚がしばしば起こりました。

ソロモンの神殿は、三百数十年後のバビロン捕囚で破壊されてしまいました。その約七十年後に再建され、さらに約五百年後、イエス・キリストの誕生当時のヘロデ大王によって、大規模に、見事な姿に増改築されました。しかし紀元七〇年にローマ軍の攻撃に遭ってまた破壊され、それきり今日まで存在しません。

建物は儂いものです。キリスト教の立派な礼拝堂や大聖堂にしても同じです。文化遺産や建築としての価値は別として、信仰的には、建物自体ではなく、そこにおいてわたしたちが「主の名」に依って神に祈り、神とお会いできる、ということこそ、大きな意味があるのです。

コロナ禍 雑感 そして祈り

納 正 子

皆さん、いかがお過ごしでしたか？

埼玉比企丘陵の一番熱い所の地続きに住んでいますが、それにしても暑い夏でした。コロナ禍をどうやってやり過ごそうかと、バランスの良い食事をとり、免疫力が落ちないようにという巷の声に、恐怖感すら持つて三度の食事のことに追いまくられました。外で食べて、やれやれということが出来ない自粛菓ごもり食は、老料理人である私と、他に老いたるつれあい一名の我が家では、文句の三つや四つ、ため息とともに出そうになるのは私です。でも、そこですぐ反省する私です。神様ごめんなさい。元気で歩いて自分で調理して、日々の糧を十分に頂戴できていることを感謝しないで何に感謝するのでしょうか。

うちは家族でやっている小さな会社が三十五年になります。低空飛行ながらこの夏も、時のいろいろな要請を守って超時間差通勤などにより、ほぼ毎日事務所を開け、今のところ感染からも無事です。ある夕方、夫と二人で同時に帰宅しても、現役主婦がそこで腰を下ろして休んでしまつたら大変、夕食の支度にすぐ取り掛かること。さもないと、何をするのも嫌になってしまつから。ああ、主婦には定年がない。そこですぐ、反省。病人食でも介護食でもない自分たちの食事を作つてモリモリと食べられることに、健康に、感謝しなくてはいけない。あ

れもこれもしなくては一日は終わらず、おまけに八月は決算月。大変なのは、自分ばかりと思つてはいけないと深く反省。

イエス様、どうぞ私のごちを少しだけお聞きください。そしてどうぞ御心になさるものとなれますよう、神様におとりなしてくださいませ。

コロナ禍も、計り知れない神のご計画の中にあるのでしょうか。

報 告

*ヤング肇子神学生は、九月六日の定例役員会での承認を経て、日本基督教団玉島教会から当教会へ転入されました。

*教会員名簿の改訂版を発行いたしました。個人情報ですので、取り扱いは十分ご注意ください。なお、今回から電話連絡網は付けないことといたしました。緊急時の連絡は、状況に応じて電話・メール等を併用しながら、牧師・役員を中心に手分けして行います。

*十月四日の主日礼拝から、コロナ対策を取りつつ、聖餐を再開します。配餐の係は手袋とトングを使ってパンを配ります。また、配餐の開始前に、手指の消毒が出来る時間を取ります。ご協力をよろしくお願ひします。

*月定献金、特別献金、各献金(東京神学大学後援会献金、隠退教師を支える運動、神学生を支える献金、会堂建築献金)へのご協力を、引き続き宜しくお願いします。

*受洗、信仰告白、伝道者としての献身をお考えの方は、牧師までご相談ください。

《各部報告 九月度》

成人会

日時 九月二十日 主日礼拝後
場所 教会堂会議室
出席者 五名
開会祈祷 黙祷
内容

出エジプト記 六章二節〜十章二十九節

主はモーセとアロンに主の約束を完遂するための使命を与えた。モーセは、エ

ジプトの奴隷として苦しんでいるイスラ

エルの民を解放し、アブラハム、イサク、

ヤコブに約束した地に導くという神の言

葉を人々に伝えるが、重労働に押し潰さ

れた人々は聞く耳を持たなかった。ファ

ラオにイスラエル人の出国を容認させる

べく主はモーセに様々な秘策を授ける

が、一方でエジプトの魔術師を利用して

ファラオを頑なにし、主の使命遂行を困

難にする。ナイル川を血に染め、エジプ

ト全土にかえる・ブヨ・アブの大繁殖、

エジプトの家畜を襲う疫病、エジプト人

と家畜に発症する膿瘍の災いにもファラ

オは頑なであった。電による農作物・家

畜の被害に及んでファラオはモーセに白

旗を上げたが、電と雷が止むと主の「や

らせ」でなくファラオは自発的に頑迷に

なり、過ちを重ねた。

次に主はいなごの大軍を送り、電害を

免れた残りの農作物を食い尽くさせよう

とする。ファラオはモーセに屈して見せ

るが、いなごの大軍が西の海に吹き払わ

れると主はファラオを頑なにされた。

モーセが主の命に従うと、エジプト全土

が三日間暗闇となった。太陽神を崇める

エジプト人として暗闇は災厄そのもので

あり、ファラオは再び折れて見せるが、

イスラエル人の出国の条件を交渉する過

程で、主はまたファラオの心を頑なにし

た。ファラオの捨て台詞にモーセは溜飲

を下げる。

◇次回 十月十八日 出エジプト記十一〜十五章

司会 は 下奥敏子姉

閉会祈祷 菊池才知子姉

婦人会

日時 九月二十七日 主日礼拝後
場所 教会堂会議室
出席者 七名
閉会祈祷 菊池才知子姉

閉会祈祷 黙祷

内容 婦人会活動の再開について協議した。

新型コロナウイルス感染予防のため、休

止していた婦人会活動を、従来通り第四主

日礼拝後に再開することに決定した。

「聖書の学び」、その他必要に応じて協議

事項を継続する。

礼拝後、会堂会議室で食事なしで十二時

三十分から限定一時間とする。

水分補給の飲料水は各自で用意する。

次回 十月二十五日 「サムエル記 上」

二十七章〜二十八章まで

